

# 会社も元氣・心も元氣・体も元氣

## ～設備投資は、企業の将来を左右する～

今回も、資金繰りに大きく影響のある、設備投資等について触れてみたいと思います。

企業には、ビジネスチャンスなどが何度か訪れます。そのチャンスを活かすために、大きな設備投資を迫られることもあります。しかし、設備投資を実施すると、これから必要な費用や支出が確定します。そのために、設備投資の目的をじっくりと考える必要があるのではないのでしょうか。本当にその資産が当社に必要なのか？ビジネスチャンスと言いながら、もしかすると、ただ単に欲しいのかもしれないね。(笑) 目的が、生産性向上・品質向上・省力化・効率化・環境改善・福利厚生・イメージアップ・長期的展望の将来性など明確で、しっかりとしていなければなりません。利益を生むことのない設備投資等は、場合によっては、企業内外から厳しい評価を受けることもあり、企業経営上、大きなマイナスにもなります。その資産が、事業に必要なのか、必要ではないのかも、大きな判断材料になります。また、理想の追求や対外的事情などで、その時、設備投資をするか、しないか、苦慮することもあります。

まず、資産を所有するのか、所有することなく利用するのかを検討することが重要となるでしょう。いわゆる、所有か、利用かです。次に、新品を購入するか中古品で賄うのか検討を加え、決断をすることになります。中古品でも十分に機能し、投資金額に比較して、貢献度が高いこともあります。将来に備えての設備投資は、大変重要なことですが、持たざる経営や中古品なども考えながら、設備投資と向き合ってみましょう。

所有による、これからの費用や支出は、費用面では、「減価償却費」・「固定資産税(償却資産税)」・「維持費」・「借入で購入の場合は支払利息」などで、支出面では、「固定資産税(償却資産税)」・「維持費」・「借入で購入の場合は毎月の借入返済額」などです。そして、リースの場合は、リース料額も確定します。このように、費用額や支出額が確定するのですが、実は、一番肝心な売上や利益が未定なのです。なんと恐ろしいことでしょう。

また、固定比率 $[(\text{固定資産} \div \text{自己資本}) \times 100]$ ・固定長期適合率 $[\{\text{固定資産} \div (\text{自己資本} + \text{固定負債})\} \times 100]$ などのバランスや資金繰り・将来の見込みなどから最終決定することが重要です。そして設備投資を実行したなら、腹を括り、全社を挙げて、成果が出るまで、誰にも負けない努力をし続けることとなります。

最後に、固定資産の中でも有価証券など、設備投資ではありませんが、特に元本割れの可能性のある投資は、会社の取引に直接関係のあるもの以外(投資目的)は、所有を控えることが重要になります。

有効な設備投資を行い、活力ある企業経営をしてゆきましょう。



### 三宅税理士事務所

財務コンサルタント  
経営学修士(MBA)

所長税理士 三宅 孝治

〒710-0803 倉敷市中島2370-14

TEL: 086-466-1255

<http://www.cms-miyake.info>